

平成28年10月7日

総務文教委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 総務文教委員会
- 2 日 時 平成28年10月7日(金) 14時26分開会
14時38分閉会
- 3 場 所 第1委員会室
- 4 出席委員 大田重男委員長、渡辺久治委員、西田数市委員、
竹原信一委員、竹原恵美委員、濱之上大成委員、
木下孝行委員
- 5 欠席委員 濱田洋一委員
- 6 事務局職員 議事係長 東 岳也
- 7 会議に付した事件 所管事務調査
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

大田重男委員長

ただいまから、総務文教委員会を開会いたします。本日は所管事務調査項目中、地域防災計画に関する件で、11月16日に掛川市へ調査を行うことになっております。その後の調査方法について、委員から委員長に提案がありましたので、委員長としては各委員にお諮りしたいと思っております。まず、提案がありました竹原恵美委員に、御意見をお願いしたいと思います。

竹原恵美委員

今、防災計画がつくっている途中で中身は知られていないんですけども、ほぼ完成しているという状態、この研修後には所管課の話を聞いて、自分たちが研修で身に着けた今まで持った疑問点、阿久根はどういうふうに対応しているのかというのを聞いていってはどうかと思っております。

大田重男委員長

今、竹原恵美委員からお話がありましたけれども、ほかに各委員からこれについて意見ありませんか。

木下孝行委員

今、竹原委員が言われたことは、今までもずっと所管調査に行ったら、帰って来たら意見交換をするということは至極当然のことであると思っております。それは問題ないと思っております。

大田重男委員長

では、そのようにしたいと思います。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、竹原恵美委員から資料の提案もありますからそれをひとつ配布してください。

(資料配布)

大田重男委員長

では、これはこれであとでお目通ししておいてください。

それでは、ただいま11月16日に開催する掛川市の所管事務調査以降、総務課を呼び、地域防災計画の進捗状況について聞きたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決しました。なお、開催日については、委員長に一任願いたいと思っておりますがこれに御異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、そのように決しました。

次に、その他ですが委員から何かありますか。

竹原恵美委員

私から一つ提案をさせていただきます。

今お配りしました提案書です。以前、私一般質問で赤ちゃんを避難所に熊本でも東日本大震災でもですけれども、その場所で、ぶっこみでいろんな種類の状況のある方、ケアの必要な方を入れ込んでしまうとなかなか運営もままならない状態がありました。そして特に赤ちゃんを抱えた方には生かしていくのが難しい、水もない、ミルクもすぐに見つからないという状態がありましたので、赤ちゃん一時避難プロジェクトというのを一般質問でもさせていただいたんですが、9月10日に多良木町との交流会の際に、多良木町の村山議長へこの資料を添付しました資料、後ろの資料です、これをお渡しして多良木町と阿久根市とはこう

いう関係はつくれないだろうか考えたのですがと、御意見くださいというふうにお出ししましたら、一枚目の提案書の経過の部分です。5日後の9月15日はお電話をいただいて、議員たち話をし、女性議員は特に必要性を感じているというふうに言ってお電話をいただきました。そして9月30日には多良木町の副議長がちょうど議会活性化委員会の委員長でいらっしゃるんですがその方に議長が投げられて、そして副議長が女性の高橋議員とおっしゃいます。この方たちで引き受けたというところにあり、議長はもう阿久根と多良木町と同時に議員発議で議案を出して行こうともおっしゃったんですが、議長の考えとしては研究しながら一番いい状態をつくっていきましょと。そして高橋さんもおなじように言われてお電話をくださった、お話をさせていただいたところでした。ただ、私がスタートは手紙をお渡しして、御意見くださいと言ったところからだったんですけども、今ちょうど阿久根市は防災計画をつくっている、その中でこれも研究課題として、ぜひ皆さんも目を向けていただければありがたいなと、私もそうやって研究していきたいと思っていますところでした。

大田重男委員長

はい、わかりました。

木下孝行委員

私と話をしたことも書いてありますので、この私との会談と言いますか、話をしたことは、大方この内容に相違はないとは思いますが、基本的に私とすれば、阿久根市の避難対策において、いわゆる避難、要支援、その中に阿久根市がその0歳児から6歳までの乳幼児というのがしっかりと入っていなければ入れていくべきだろうと思うし、またそういう中でその要支援者の中の乳幼児に対しての一時避難の場合はどこまで、ミルクの提供までできるように備蓄をすとか、そういう時には阿久根市のどっか施設一つ乳幼児と母親のために一つを確保すとか、そういった話が計画の中に盛り込まれるようなことを委員会の中で皆さんと議論してできるようになればいいかなということ竹原委員には話をしたということでもあります。ただ先ほど多良木町の副議長さんが、議会発議でということがありましたけれども、ここの部分については、基本的には行政がものごとは決めていくということがまず根本だろうと思いますので、議会が一方的にそういうことを発議するとなかなか厳しい状況にあるのかなと思いますので、そこはまたそういった中で、流れの中で今後の過程の中でそういった方向に行くことは可能だろうと思いますけれども、いきなりそういうことはなかなか当初は難しいのかなと思っています。

西田数市委員

この赤ちゃん一時避難の体制づくりプロジェクトですね、これにですねまたペットも熊本地震でやっばしペットの避難先もないということで、熊本県の獣医さんが知事に話を持ちかけて、それで避難所をペットも一緒に飼えるような体制をつくったというのが前例があります。これと一緒にペットも一時避難ができる体制をつくってもらいたいという要望も付け加えてもらいたいです。

大田重男委員長

今、竹原恵美委員、木下委員、西田数市委員からありましたけれども、こういうそういったことを含めてですね、今度は所管調査したことをまた執行部とお話をするわけです。その中でもまたお話をししてもらえばいいと思いますけど、ほかに。

濱之上大成委員

本当にすばらしい提案だと思っています。ただここに赤ちゃん一時避難というような捉え方なんですけど、やはり今議長がさっきおっしゃった6歳未満、それから低学年ですね、特にここは田舎はな、やっぱり共働きの人が結構多いんですね、そうした時に私事で恐縮なんですけど、うちの関係者は全部福祉関係なもんですから、災害があっても子供はどっかにか預けて仕事に出ないかんわけです。特に市の職員なんか出ないかんわけですね、そうした時に今お医者さんとか、保育園にはちょっと個人的な相談したら協力しますということなんで

すが、保育園は休みですと言ってどこに預けるのと言ったら私達は親がそばにいるから預かるんだけど、そういう預かる場所がないとなまさにそれも含めての提案でやっていただければなと思います。

大田重男委員長

はい、わかりました。そういったことも含めて今後のですね、執行部とも話をするということによろしいですね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

ほかになかったら事務局から。

東議事係長

すみません1点だけ、現在11月15、16日の総務文教委員会の所管事務調査にですねついてなんですが、現在のところ、欠席の届出、口頭ですが竹原信一委員から欠席の話があります。ですので、それ以外の委員の方の旅券についてはおとついで確保をしましたので、もう予約をしてある状態です。今後欠席をされる場合はキャンセル料が発生してきますので、もし欠席がわかった時点でなるべく早く委員長のほうに話をお願いします。

また、11月16日の帰りの飛行機の便なんですが、飛行機のダイヤ改正に基づいて、今13時5分だったと思うんですが、11時55分に変更になっておりますので、1時間くらい帰りが早くなるということになっておりますので、また詳しい行程については11月の冒頭にでもまた委員会を開催してそこでお知らせをしますのでよろしく申し上げます。以上です。

大田重男委員長

それでは今事務局からお話がありましたけれども、11月に入ってそういった行程について話をしたいと思います。

それでは、以上で総務文教委員会を終了します。

(閉 会 14時48分)

総務文教委員会委員長 大田 重男